

# 目指すべきまちづくり 作成の考え方

## 目指すべきまちづくり 【たたき台】

市民が地域で生まれ、育ち、暮らし続けられるように、活気ある地域経済の下で働ける環境が整った、安全安心なあたたかいまちを目指します。特に、次世代を担う若者が地域の未来に希望を描き、その希望を地域一体で支えながら実現できるまちを目指します。

豊かな自然環境や多様な文化、そして、ひがし北海道の拠点として発展してきた釧路の魅力に自信と誇りや愛着をもって市民一人一人が主役となるまちづくりを行うことで、地域の担い手を育成し、まちの魅力や価値をさらに高め、未来に希望を描けるまちを次世代に継承していくことを目指します。

限られた資源を社会情勢の変化に即応して柔軟かつ重点的に投資する「都市経営」の視点に基づいたまちづくりを目指します。

### 作成の考え方

背景

- 考え方① 全国的に少子高齢化社会が急速に進展する中で、地域で生まれ、育ち、暮らし続けることができるまちを目指すことが、人口減少を抑制し、持続可能なまちにしていくなために必要です。そのためには、出産、子育て、教育、福祉、防災減災など市民が安全で安心して住み続けられる魅力的なまちづくりが重要です。
- 考え方② 地域で暮らし続けていくためには、地域で仕事に就くことが重要であり、このことは、市民・企業・各種団体アンケート結果において、今後釧路市が特に力を入れて取り組むものとして「雇用対策の推進」の回答数が2位と上位であることからもうかがえます。女性、若者、障がい者など多様な市民の仕事に就くという希望をかなえるための就労支援や子育てと仕事の両立などライフスタイルに合わせた働き方への対応が社会的な課題となっています。また、一度釧路を離れた人の釧路に帰ってきたいという希望をかなえるための受け皿としても、雇用の拡大に取り組むことが重要です。
- 考え方③ 市民アンケート結果では、地域の弱みとして回答者の 34.1%が「産業」を挙げており、産業の振興が取り組むべき課題であると認識されています。地域を支える中小企業や小規模事業者が経営課題を解決し、経営安定化と高度化を進めるための取組が求められています。そのため、産・官・学・金・労・言や異業種間の連携を強化し地域の力を活用することなどにより、地域の弱みを強みへと転換していきます。さらに、地域の産業を雇用づくりにつなげるとともに、「釧路経済を支える確かな力」とするため、域内循環や外から稼ぐ力の強化を推進します。
- 考え方④ 次世代を担う若者が釧路で活躍するためには、子どもを生み育てることや、希望の仕事に就くこと、新しいビジネスにチャレンジすることなど、釧路の未来に希望を描き、その希望を実現できる環境づくりが重要であり取組を推進していきます。このことは、アンケート結果において、市民・企業・各種団体アンケートを通じ、回答者の過半数が「『わかもの』の希望がかなうまち」を今後重要な取組として選択していることや、自由意見の中で「若者」や「次世代」に関する記述が約16%を占めることから、その重要性が示されています。釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、人口の社会減に歯止めをかけ、子どもを生み育てたいという希望を持つ若い世代の釧路への定着が、急激な人口減少に歯止めをかける上で最も重要であると位置づけています。

- 考え方⑤ 若い世代が、進学や就職を機に他地域に流出することを食い止めるため、地域の現状や課題について成長の過程に合わせて、社会活動や職業体験など様々な取組から学ぶことによって「ふるさと釧路」への愛着や関心を高めることが重要であり、釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも、子どもの職業観の育成や各分野での人材の育成を推進しています。これらの取組を通して、自分たちが主役になって地域の未来を創るという意識を醸成することで、産業やコミュニティ活動などの幅広い分野で地域を支え発展させる担い手の育成を目指します。

- 考え方⑥ 限られた経営資源を効率的、効果的に投資するといった「都市経営」の理念は、今後の市政運営においても重要であることから、まちづくり基本構想にその理念を反映することで、市民、企業、団体等の地域に関わる全ての人々が、地域の持続可能な発展に向けた「都市経営」の視点を理解し、意識を共有できるまちづくりを進めます。

別添資料

資料 3-2

参照